

平成28年度第3回千葉県図書館協議会議事録（要録）

- 1 日 時 平成29年3月22日（水）  
午後2時30分から午後3時30分まで
- 2 場 所 千葉県文化会館 聖賢堂会議室
- 3 出席者 （委 員） 渡 辺 敦 小 泉 卓 史  
伊 奈 亘 牧 野 千 恵  
佐 藤 宗 子 植 松 榮 人
- 中央図書館長 鵜 澤 堅 治  
西部図書館長 三 浦 章 宏  
東部図書館長 高 橋 正 名
- 他11名
- （傍 聴 者） なし

4 議 事

（1）報告事項

- 報告1 千葉県立図書館の今後の在り方行動計画の実施状況について  
報告2 その他

（2）協議事項

- 協議1 平成29年度県立図書館事業計画（案）について  
協議2 その他

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

<会議録>

議 長

議事に入ります前に報告を申し上げます。  
本日の会議は、委員定数10名に対し6名の委員の出席をいただいております。  
出席者が半数以上に達しておりますので、「図書館協議会会議運営規則第6条」の規定により、本会議は成立していることを報告させていただきます。  
それでは、議事に入らせていただきます。本日は報告事項1件、協議事項が1件となっております。

初めに、報告事項1「千葉県立図書館の今後の在り方行動計画の実施状況について」事務局の説明をお願いします。

事務局 資料1「千葉県立図書館の今後の在り方行動計画の実施状況について」に基づき報告。

議長 ただ今の説明について、御質問・御意見がありましたらお願いいたします。

委員 平成28年度実施状況報告の数値について、図書館側として対策が必要であると考えているものはありますか。

事務局 市町村立図書館等への資料貸出しについては上昇率が少ないため、高校への支援が今後重要になってくると考えております。高校に対する資料貸出を周知して、県立図書館は便利であると貸出用セット資料の活用を含めてPRし、支援を強化していくことで、貸出数量も伸びていくだろうと考えております。併せて、生徒も学校図書館を使ってもらえれば、卒業してから地元の公共図書館等を使おうという気運が高まるのではないかと推測しております。

議長 ありがとうございます。その他に何かありますか。

委員 平成28年度実施状況報告の1月末現在の数値は、平成25年度から平成27年度と比較して良い方向に進んでいるのでしょうか。

事務局 まだ1月末ですので、累積値としては、もう少し伸びはあると思われませんが、全体的に申し上げますと、ほぼ前年度と同じような状況でございます。

議長 ありがとうございます。他に何かありますか。

委員 図書館協議会委員を経験して、県立図書館運営がとても密に協議をされていることを知ることができました。図書館は5か年かけて今後の在り方や運営を計画しており、その過程や頑張りに感動しました。貴重な資料は図書館が所蔵していることが多く、実物を見ることができる感動は電子ではなく、紙で伝わるものもあると思います。読書県ということで、人は2歳から物事を考える力や思考力が身についてきます。したがって、保育園や市役所等にもアクションを起こし、図書館の存在や、電子ではなく紙類、本を読むことの大切さを伝えていってほしいと思います。

議長 時代の流れで電子書籍に移行している中で、紙の役割が大事だと感じるが多々あります。学校でiPad等を使用して授業を行うような時代になってくると、紙文化がなくなり、図書館から離れていくのではないかと感じておりましたが、図書館があることは大事なことだと、今の説明で改めて思うことができました。

その他に御質問等があればお願いします。無いようでしたら、次に進みます。  
報告2「その他」ですが、事務局から何かありましたらお願いします。

事務局 資料「平成28年度関東・甲信越静地区図書館地区別研修実施報告」に基づき報告。

議長  ただ今の説明について、御質問・御意見がありましたらお願いいたします。  
無いようですので、次に進みます。

事務局  協議1「平成29年度県立図書館事業計画（案）について」事務局、説明願います。  
資料「平成29年度県立図書館事業計画（案）について」に基づき報告。

議長  ただ今の説明について、何か御意見・御質問等ございますか。

委員  平成29年度が5か年の最終年度ということで、何か違う部分はあるのでしょうか。

事務局  分析について、次回どのようにしていくか、内部で検討することになっております。先ほど申し上げました高等学校への支援や西部図書館をはじめとした特別支援学校への支援について、中央図書館でも試行を始めております。無理なくエリアを拡大できないか、検討の時期になっております。

委員  図書館の購入費が減少していますが、業務をしていくうえで、人手も足りないということはないでしょうか。

事務局  多くの業種で人手が足りないという時代でございますが、それを理由にはできないため、全体的に工夫し、検討させていただいております。幸いなことに、ここ数年、司書が採用されております。専門職が増えていくことは、司書が必要だにご理解いただけているのだと思います。これからも司書の役割や重要性を対外的にPRし、人材の充実を図っていきたいと思っております。

委員  図書館協議会は、図書館をバックアップする応援団です。今おっしゃられたことを私たちも応援していきたいので、これからも報告してください。

議長  29年度の図書館のキーワード、キャッチフレーズはつくらないのですか。

事務局  地道にコツコツやっていくのが千葉県らしさなのかなと思っております。ただ、足跡を残し、PRすることで、やはり千葉県だと思われるようにしていきたいと考えています。

議長  ありがとうございました。それでは、以上で議事の進行を終わりたいと思います。皆さん、御協力ありがとうございました。

事務局  「その他」といたしまして、事務局から一点お知らせがあります。  
別冊「共同企画「祝日本遺産 北総四都市江戸巡り」展示解説」に基づき報告。  
以上をもちまして、平成28年度第3回千葉県図書館協議会を終了いたします。  
ありがとうございました。